

- 問1 ある北海道の自治体の農業産出額を確認したところ、乳用牛の産出額が突出して高く、一方で米や野菜の産出額はほぼゼロに近いという特徴が見られた。この自治体が位置する場所として最も適当なものはどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 石狩川下流の石狩平野

2. 北海道中央部の盆地帯

3. 根室半島付近の根釧台地

4. オホーツク海沿岸の平野部
- 問2 北海道の道庁所在地である札幌周辺の地理的特徴と、地名の由来について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。

2. 大規模な火山灰地が広がる根釧台地に位置し、地名は明治時代に移り住んだ屯田兵の出身地に由来する。

3. 広大な泥炭地が広がる石狩平野の沿岸部に位置し、地名は本州から移り住んだ開拓使の言葉に由来する。

4. 十勝川の流域に広がる十勝平野に位置し、地名は江戸時代の松前藩の役職名に由来する。
- 問3 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。（2018年 山形県公立入試 類似）

1. 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。

2. 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。

3. 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。

4. 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。
- 問4 1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。

2. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。

3. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。

4. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。
- 問5 ある都道府県の統計データにおいて、小麦の収穫量が約71万7千トンと全国で突出して多く、豚の飼育数も約76万頭と多くを占める都道府県として適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。（2026年 岩手県公立入試 類似）

1. 鹿児島県

2. 東京都

3. 北海道

4. 愛知県
- 問6 北海道の歴史や文化において、古くからこの地に居住しているアイヌの人々に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 明治時代に北海道を開拓するために、農業を行いながら北方警備を担当した人々である。

2. 江戸時代に徳川将軍家から北海道の支配権を認められ、松前藩を組織して交易を独占した一族である。

3. 独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。

4. 鎌倉時代に本州から渡り、北海道南部の館（たて）を中心に和人の勢力を広げた武士の集団である。
- 問7 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 小笠原諸島

2. 知床

3. 白神山地

4. 屋久島
- 問8 明治時代に行われた北海道の開拓の背景と特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. アイヌの人々の独自の文化や土地利用の権利を保護することを最優先に開発が進められた。

2. 広大な森林を維持するため、農業は一切行わずに毛皮の採取と輸出のみを推奨した。

3. 九州地方の沿岸警備を目的として配置された防人が、大規模な志願制度によって北海道へ移された。

4. 政府は開拓使を設置し、屯田兵による北方の防衛と大規模な土地改良を並行して進めた。
- 問9 北海道の石狩平野などでは、かつて枯れた植物が十分に分解されずに積み重なった、水分が多く農業に不向きな「泥炭地」が広がっていました。この土地で稲作などを可能にするため、他の場所から質の異なる土を運び入れて土壌の性質を改善する土地改良の手法を何といいますか。（2022年 三重県公立入試 類似）

1. 段々畑の造成

2. 輪作

3. 干拓

4. 客土
- 問10 日本の都道府県別の農業産出額において、品目別の割合を示した統計資料のうち、畜産の割合が約52.5%と過半数を占め、一方で米の割合が約12.2%にとどまっているという特徴を持つ都道府県はどこですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 北海道

2. 新潟県

3. 千葉県

4. 宮崎県
- 問11 北海道の各地域における就業者の状況について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。なお、北海道では道東や道南の広い範囲において、特定の産業分類の数値が高い傾向にあります。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 札幌市などの大都市圏のみに商業が集中しているため、地方部では第二次産業の就業者が最も多い。

2. 大規模な工業団地の整備が進んだ結果、道内全域で製造業に従事する第二次産業の割合が第三次産業を上回っている。

3. 農業産出額が全国トップであるため、多くの市町村で第一次産業の就業者数が全体の過半数を占めている。

4. 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。
- 問12 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 熱帯

2. 冷帯（亜寒帯）

3. 温帯

4. 乾燥帯
- 問13 日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。

2. 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。

3. 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。

4. 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 根室半島付近の根釧台地	農業産出額において乳用牛が圧倒的で、米や野菜がほとんど生産されていない特徴は、別海町などの根釧台地に見られる典型的な農業形態です。この地域は冷涼な気候のため酪農に特化しています。石狩平野は稲作、オホーツク海沿岸（北見市など）は玉ねぎなどの畑作が盛んです。
問2	答え 1 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。	札幌の市街地は、石狩川の支流である豊平川などが運んだ土砂が積もってできた石狩平野に位置しています。北海道にはアイヌ語を由来とする地名が多く、札幌（サツ・ポロ・ペツ）もその一つです。根釧台地は大規模な酪農、十勝平野は畑作が盛んな地域であり、札幌の位置する地形とは異なります。
問3	答え 3 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。	北海道の冬季観光は、海外から「JAPOW（Japan Powder Snow）」と称賛される質の高い雪を目的としたスキー・スノーボード客によって牽引されています。加えて、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントも国際的な認知度が高まっており、これらが2012年から2016年にかけての宿泊者数急増の主な要因となりました。一方、北海道には本州のような梅雨がほとんどないため、天候を理由とした夏季の敬遠は当てはまりません。
問4	答え 2 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。	北海道全体の人口が緩やかな伸び、あるいは横ばい傾向にあるのに対し、札幌市の人口は1960年から2010年の間に約3倍以上という極めて高い伸び率を記録しています。この結果、北海道の総人口に対する札幌市の人口が占める割合は上昇し続けており、特定の都市に人口や経済機能が集中する「一極集中」という地理的特徴が顕著になっています。
問5	答え 3 北海道	小麦の収穫量が他県を引き離して極めて多く、豚の飼育数も上位に位置する都道府県は北海道です。なお、愛知県は輸送用機械器具出荷額、東京都は国内航空乗客数、鹿児島県は豚の飼育数が全国最多という特徴があります。
問6	答え 3 独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。	アイヌの人々は、日本列島の北部や周辺諸島に古くから定住している先住民族です。彼らは日本語とは系統が異なる「アイヌ語」という独自の言語を持ち、自然の中の動植物や現象を「カムイ（神）」として敬う独自の精神文化を持っていました。現在はその伝統や文化を保護・振興するための施策が進められています。他の選択肢にある屯田兵や松前藩などは、アイヌの人々とは対照的な立場や異なる歴史的背景を持つ集団です。
問7	答え 2 知床	北海道東部にある知床半島は、冬に流れ着く流氷がもたらすプランクトンを起点として、魚類、鳥類、そしてヒグマなどの大型哺乳類までが密接に関わる豊かな生態系を持っています。この貴重な自然環境が認められ、日本では3番目の世界自然遺産として登録されました。
問8	答え 4 政府は開拓使を設置し、屯田兵による北方の防衛と大規模な土地改良を並行して進めた。	明治政府は、ロシアに対する防衛（国境の確定）と、資源の確保や失業した土族の救済を目的に北海道の開拓を急ぎました。開拓使が中心となって欧米の農業技術を導入し、屯田兵が厳しい自然環境の中で土地を切り拓いたことが、現在の北海道の農地基盤につながっています。
問9	答え 4 客土	石狩平野などに広がる泥炭地は、水はけが悪く地盤も軟弱であったため、そのままでは稲作に適いませんでした。そこで、他の場所から肥えた土や粘土質の土を運び込む「客土」という大規模な土地改良が行われました。この努力によって、北海道は日本有数の稲作地帯へと発展しました。干拓は海や湖を仕切って水を出し陸地化すること、輪作は同じ土地で時期をずらして異なる農作物を育てることを指します。
問10	答え 1 北海道	広大な土地を活かした大規模な農業が展開されており、特に十勝平野や根釧台地などを中心に乳牛や肉用牛の飼育が盛んです。そのため、農業産出額の構成では畜産が5割を超えるという、他県にはあまり見られない独特の構成比を示しています。米どころとして知られる新潟県などとは対照的な構成です。
問11	答え 4 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。	現代の日本の産業構造では全国的に第三次産業の割合が高いですが、北海道においてもその傾向は顕著です。広大な土地を利用した農業が盛んな道東地域や、歴史的景観や温泉資源を持つ道南地域などでは、観光客向けのサービス業や小売業が地域経済を支える重要な基盤となっています。そのため、都市部以外の市町村であっても、統計上は第三次産業の就業者割合が高い水準で維持されています。
問12	答え 2 冷帯（亜寒帯）	日本の大部分は温帯に属していますが、最北に位置する北海道は冷帯（亜寒帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒さが非常に厳しく、夏が短いことが特徴です。札幌市の統計を見ると、1月の平均気温がマイナス5度前後まで下がる一方、7月には20度を超えるなど、年間の気温差が大きいことも特色の一つです。
問13	答え 3 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。	北海道は明治時代以降の開拓の歴史や、広大で平坦な土地という地理的条件を背景に、機械を用いた「大規模経営」が発達しました。気候面では、特に東部や北部を中心に冷涼な地域が多く、稲作よりも広大な草地を利用した酪農などの「畜産」に適しています。その結果、農業産出額においても畜産が51.7%と過半数を占め、米や野菜が中心となる日本全体の農業構造とは異なる独自の特色を持っています。